



RENKEI



発行元 **松江市在宅医療・介護連携支援センター** TEL: (0852) 61-3741 FAX: (0852) 21-5377
住所: 〒690-0852 島根県松江市千鳥町70番地 松江市総合福祉センター1階 社会福祉法人松江市社会福祉協議会

ホームページもご活用下さい >>>

新型コロナウイルス感染症の発生に備えて 研修会開催

新型コロナウイルス感染症の発生に備えて、7月末から8月初めにかけて松江市主催で「高齢者施設感染症対策研修」が実施されました。内容は下記のとおりです。

全国各地で高齢者施設のクラスターが報告され、施設職員の皆様は日常生活の中でも、自分自身が新型コロナウイルスを施設に持ち込まないよう、緊張や不安を抱きながら、利用者の生活を支えるため懸命に対策をとっておられるとうかがっています。



高齢者施設向け 研修内容

- ①新型コロナウイルス感染症について
- ②スタンダードプリコーション（標準予防策）、手洗い、消毒等について
- ③ゾーニングの考え方
- ④施設内で感染者が発生した場合の松江保健所の対応

在宅サービスを担う担当者の皆様向けの研修も下記のとおり、予定しています。事業所数が大変多いため、集合研修は行わず研修動画を YouTube で、申し込まれた事業所に限定配信し、多くの関係者の皆様に視聴していただければと思っています。詳細は決まり次第、一斉メールにて配信します。

在宅サービス 担当者対象 研修内容

- ①新型コロナウイルス感染症について
- ②スタンダードプリコーション
- ③在宅での感染者発生に備え
- ④在宅で感染者が発生した場合の対応



松江市内10病院の地域連携に係る職員の集まり、「松江市病病連携推進会議」定例会を行いました。

第1回目を7月14日(火)、第2回目を9月8日(火)に行いました。「感染症対策」を実施しながら、参加人数の制限をし、集まりました。久しぶりにお互いの顔を見て、情報交換しながら、課題についての意見交換を行いました。

議題の中から、第1回目、2回目とも「新型コロナウイルス感染拡大」に関連して、各病院からの状況報告と共有を行なったので、その報告を以下にお知らせします。



まず、面会制限による入院患者さんへの影響です。

「面会制限のため、疼痛コントロール目的の入院をやめ、自宅療養を選択した」「家族の面会がないことでの認知症の進行があった」など、患者さんへ与えた影響は大きく、家族から見捨てられた感を訴えた方もいたそうです

また、影響が多かったのが、患者の家族です。「家族が患者の状態を直接見ていないと、家族は患者の状態のイメージができず医師から家族への病状説明が難しいことがあった」「遠方の子供に病状説明ができないため、市内の親戚に直接説明したが、説明内容のズレが生じ、支障があった」「家族が本人に会えないため、家に連れて帰るイメージがつかず、退院支援に支障が生じた」「会うことが出来ないことで、治療方針、退院支援の方向が調整しにくかった」「家族に会えると、家族の雰囲気や態度で、説明した内容の理解が読みとれるが、電話だと難しい。ケアマネとの連携も難しい」など、多くの報告がありました。

さらに、「アルコール症など、自助グループの集まりができないため、患者が不安定になった」「デイサービスの中止などもあったためか、家族間のストレスによる虐待かな?と思われるケースの受診があった」など外来患者さんへの影響も大きいようです。

そんな中でも、病院の方たちは、Web会議、県外からの面会者別室対応、ゾーニング、カンファレンスの工夫(病棟ではなく、院内の別室利用・人数の制限・電話連絡、特に、遠隔地とのWebでのカンファレンスは、有効だった)など、日常活動の継続に工夫・努力をしていました。

面会制限についても、リモートでの面会などの検討が各病院とも実施、検討されるようになっていました。



ご存知ですか？ 見守りネットワーク事業

松江市社会福祉協議会では、知的障がい者・精神障がい者・認知症の方の行方不明時に、協力者の携帯電話に行方不明者の情報をメール配信する「見守りネットワーク事業」に取り組んでいます。

「外出したけど帰り方がわからないみたい」「どこに行ったか分からなくなった」そんな時、協力者・団体のネットワークに登録された方の携帯電話に、捜したい方の情報をメール配信し、いち早く探すネットワークです。

毎年暑い夏が終わり、過ごしやすい秋になると、行方不明者の方が多くなる傾向があります。日も短くなりますので、日が暮れないうちに自宅へ帰っていただけるよう、多くの方にご協力をいただければと思います。

詳しくは [社会福祉協議会ホームページ](#)→見守りネットワーク をご覧ください。

登録をお願いします!



左記QRコードか下記のアドレスに空メールを送信して登録してください。

address: mimamori-network@xpressmail.jp

なお、@xpressmail.jp ならびに @shakyou-matsue.jp を迷惑メール防止設定から解除してください

このような
メールが届きます

mimamori-network@xpressmail.jp

未帰宅高齢者をさがしています

○月○日朝9時頃散歩に出られてから未帰宅です。

83歳 男性 ○○町在住
体形：175cm すらっとした細身
服装：グレーの帽子
黒のジャンパー、
黒のスボン
黒縁のメガネ

見かけられた等、お気づきのことがあれば下記にご連絡ください。

発見された
時には

mimamori-network@xpressmail.jp

○月○日に未帰宅高齢者のお知らせをいたしました、○○様

○月○日に松江市内で無事発見されました。

情報を頂いた皆様には、お礼を申し上げます。

ご協力頂き、ありがとうございました。

今後も、よろしくお願い致します。

介護老人福祉施設(地域密着型を含む)の医療等対応状況について調査しました。

令和2年2月の有料老人ホームの調査に続き、8月に市内の地域密着型を含む介護老人福祉施設と併設の短期入所生活介護(ショートステイ)について、施設のご協力をいただき、調査を実施しました。経管栄養、インスリン注射、喀痰吸引、治療食の種類、透析の送迎等の対応について、閲覧可能です。

[社会福祉協議会](#)→在宅医療・介護連携支援センター→地域の医療・介護の資料集 をご覧ください。

終活支援ノートのお話しに伺っています。

当センターは、松江市が作成している「終活支援ノート」の紹介を兼ねて、終活支援ノートの説明に地域（主に、なごやか寄り合い等）へ出かけています。終活支援ノートが必要になった背景、作成する目的、活用方法など「終活支援ノート」の内容項目に沿って、説明しています。『ACP（アドバンスケアプランニング）を意識しながら“自分らしさを最期まで”大事にしたい。書面だけでなく、繰り返し話し合うことが必要です。』と伝えています。

終了後のあるアンケートの結果です。「もしもの時について考えたことがあるか」の質問に「ある」が75%、「もしもの時について話し合ったことがあるか」について、「ない」と答えた方が75%でした。

その理由に「きっかけがない」「必要性を感じていない」などがありました。

「70代以上は、自分事だが、向かい合いたくない」「子供は東京在住。年に1～2回の帰郷では、親が何に価値を置き、暮らしているかなどわからない。伝えることは大事だ。」「考えるきっかけになった」「これから話し合いあいたい」など前向きにとらえる傾向がありました。

出かけて話していると、日常会話の中でACPの内容を会話しているのに、ただ本人たちは、気づいていない傾向にあることがわかってきました。

また、住民さんのご希望により同時に松江市建築指導課より、入所や死亡などで住まなくなったご自宅の活用方法など「空き家対策」についての説明が加わることもあります。



Information ～活用しよう！いろいろな情報～

当センター ホームページからの情報紹介

☆松江市内病院面会について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い松江市内の病院の面会方法が、通常より変化しています。病院ごとに面会の仕方が違い、戸惑うという声をお聞きすることもありました。各病院のホームページに示してあるところもありますが、この度、一覧にしてみました。ご活用ください。

当センターのホームページからもご覧になれます。

松江市在宅医療・介護連携支援センター>新型コロナウイルス関連情報>松江市内病院面会について

☆「松江圏域(松江市・安来市)訪問看護ステーション一覧」2020年度 改訂について

昨年度7月に、各訪問看護ステーションのアピールポイント、対応可能な看護・ケア、リハ職配置状況などを盛り込んだ「松江圏域(松江市・安来市)訪問看護ステーション一覧」の作成をしておりました。1年経過しましたので、現在の情報を確認し、改訂版を作成しました。当センターのホームページからダウンロードできます。

松江市在宅医療・介護連携支援センター>地域の医療・介護の資料集>松江圏域(松江市・安来市)訪問看護ステーション一覧